

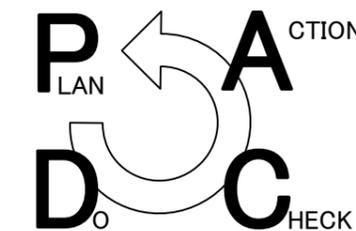
政策名	5安全な港	施策推進 責任者	企画調整室長 建設部長
基本施策名	08施設の安全性・信頼性の向上		
個別施策名	24海岸保全施設の機能を維持・強化する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	県市民、地域住民、就業者、立地企業、港湾利用者					
	サービスの対象物(何を)	海岸保全施設(護岸、防潮壁、防潮扉、ポンプ所等)					
	意図(どういう状態にしたいのか)	機能を確保し、適正に管理されている					
内容	海岸保全施設は整備後40年以上経過していることから、周辺環境の変化に対応するため、海岸保全区域の変更や施設の防護機能の維持・回復・向上を図ることにより、海岸保全施設の機能を確保し、適正に管理していきます。						
目標	海岸保全施設の液状化対策を実施するなど、防護機能の強化を図ります。					目標達成に影響する外的要因等	
成果指標名		単位	実績			目標	指標の説明(式)
			H19年	H20年	H21年	H24年	
海岸保全施設を機能強化した割合	実績目標	%	85	85	85	86	(耐震性がある防潮壁)÷(防潮壁総延長)
	達成率	%	98.8	98.8	98.8		
	実績目標						
	達成率	%					

4. ACTION(取組)

取組の方向性				
成果	拡大			
	維持		○	
	縮小			
		縮小	維持	拡大
		コスト		
判断の理由				
厳しい財政状況の中でも、背後地域の生命財産を守るものであり、計画に位置づけられた事業の事業化を順次進めていきながら、成果を発揮していく必要があるため。				



3. CHECK(個別施策の実現に向けた今後の展開方向)

現状における課題認識	
<ul style="list-style-type: none"> 海岸保全区域の変更については関係機関との協議進捗が遅れています。 海岸保全施設に関しては、ほかにも老朽化が進んでおり、維持管理費は年々増額し続けています。限られた財源の中で効率的に配分する計画が必要です。 中川口防潮水門ポンプ所改良整備事業は、計画通り進捗しています。 	
構成事務事業の適正性 (事務事業の構成内容の妥当性)	
<ul style="list-style-type: none"> 当面の事務事業構成は概ね妥当と考えます。 	
今後の展開方向 (新規事業の創出、事務事業の見直し等)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業のスピードアップやそのための効率的整備手法について検討、推進を図ります。 	

2. DO(個別施策を構成する事務事業の今後の方向性)

重点化	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な成果指標 又は活動指標 (単位)	成果・事業費(千円・人件費込)				目標値 (目標年度)	21年度末 までの 状況	今後の方向性		判断の理由	
				H19年度	H20年度	H21年度	H22年度			事務事業 の 方向性	取組の方向性 成果 コスト		
				実績		目標							
		決算額	決算見込額	予算額									
	海岸保全区域の変更 (5082401)	三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画に位置づけられた防護ライン(防潮壁)に海岸保全区域を変更し、適切な海岸の管理・保全を図ります。	変更進捗率(%) (中川運河以西:H20、以東:H22) (上段:単年度、下段:累計)	12.5 12.5	43.8 56.3	6.3 62.5	37.5 100	100 (H22)	遅れ	終了	遅れている関係者調整を図り、年度内に終了させるため。		
○	堀川口防潮水門ポンプ所(改良)整備事業 (5082402)	海岸保全施設の機能を維持するため、堀川口防潮水門ポンプ所の改良を行います。規模:水門1式、排水機場改良1式	事業進捗率(%) (上段:単年度、下段:累計)	9.2 26.8	14.6 41.4	12.1 53.5	15.7 69.2	100 (H24)	順調	継続	→	→	生命・財産に関わる重要な施策であるとともに、計画通り進捗しているため。
	大手ふ頭南護岸(補強)整備事業 (5082403)	海岸保全施設の機能を維持するため、大手ふ頭南護岸の液状化対策を図ります。規模:護岸補強453m	事業進捗率(%) (上段:単年度、下段:累計)	1.3 1.3	4.0 5.3	7.6 12.9	6.3 19.2	100 (H27)	順調	継続	→	→	生命・財産に関わる重要な施策であるとともに、計画通り進捗しているため。
	ポンプ施設・防潮扉等の管理 (5082404)	堀川口防潮水門・ポンプ施設、防潮扉等について保守点検を行い、不良箇所を発見した場合は緊急度に応じた補修を実施します。	施設稼働時における故障件数(件) ()内は防災時を示します	4(0) 97,419	2(0) 99,144	3(0) 90,420	0 103,000	0 継続事業	順調	継続	→	→	前年と同水準の保守点検を行うとともに、計画的な維持修繕工事を行っていくため。
	防潮壁等改良事業 (5082408)	整備場所:名古屋港区稲永・潮風ふ頭、大手ふ頭、中川口、築地・ガーデンふ頭、大江ふ頭、昭和ふ頭、船見ふ頭、潮見ふ頭 内容:海岸保全施設の改良	事業進捗率(%) (上段:単年度、下段:累計)		0.6 0.6	3.3 3.9	10.4 14.3	100 (H24)	順調	継続	→	→	生命・財産に関わる重要な施策であるとともに、計画通り進捗しているため。
				施策コスト (事業費合計)	528,109	805,380	729,624	949,834					

注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。

注)目標値欄の「継続事業」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則としてH24年度の中間目標として設定しています。